



宇野 重規 (UNO Shigeki)

東京大学社会科学研究所 教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。
博士 (法学)。

千葉大学法経学部助教授などを経て現職。

専門は西洋政治思想史・政治哲学で、デモクラシーと宗教、現代政治哲学の比較分析 (アメリカ、フランス、日本)、現代フランス政治哲学、19 世紀フランス政治思想史などを研究している。

主な著作に『政治哲学へ：現代フランスとの対話』(東京大学出版会、渋沢・クローデル賞ルイ・ヴィトン特別賞受賞)、『トクヴィル 平等と不平等の理論家』(講談社選書メチエ、サントリー学芸賞受賞)、『<私>時代のデモクラシー』(岩波新書) などがある。近著に、『西洋政治思想史』(有斐閣)、『民主主義のつくり方』(筑摩選書)。
その他、政治哲学や政治思想に関する論文多数。